



きくぐみ

10月

大相月

秋の気配がますます深まる頃。子どもたちは、秋の虫を見つけて、とんぼを拾って、いろいろな秋の自然を楽しんでいます。さて、今週末にはいよいよ保育園生活最後の運動会を迎えます！運動会に向けて気持ちを揺れ動かしながらも、「かっこいいところを見せて」といってがんばっている子どもたちです。

太鼓「かがり火太鼓」



今年は、新しく「かがり火太鼓」に挑戦です！これまで聞き慣れない上、体持の多いリズムに「難しいー！」とサジを投げそうになることもありますが、「リズム言うてあげるから大丈夫ぞ！」のお友だちの言葉に支えられ気持ちを立て直して、リズムの変わり目をみんな目で合図し合ったりしながら練習しています。この曲は、長良川の鶺鴒の木葉子を太鼓の演目曲にしたものです。赤い房をつけたバチをかがり火に見立て演奏します。きくぐみの子どもたちが、かがり火のように自分と自分の周りの人を照らしてあげられるようになりたい。そんな願いを込めて選曲しました。子どもたちが自分のまわりをしっかりと照らせるように腕を高くと挙げてポーズをとったり、小さい音や大きな音を体全部で表現する可愛らしい姿をたくさん見たい！

リレー「全力疾走」



始めの頃は、「やれない！」というお友だちがいたり、順番にトラックの外側を走る！というバリエーションを楽しんで子どもたち。しかし、次第に「みんなやれない」「勝たない」という気持ちが出てきました。勝つ負けにあまりこだわらないお友だちが多いクラスですが、リレーでは、勝つ喜びや負ける悔しさを感じ、それぞれが感情を剥き出しにして頑張っています。みんなが全力で走ることによって、揉めることもありましたが、その度に「負けはみんなのせい！」という声が上がったり、作戦を考えたり、協力し合ったりする姿が見られるようになりました。現在まだまだチームワークを高めながら途中の子どもたち。当日はどんなチームワークを、そしてどんな勝負を見せてくれるのでしょうか？一人ひとりがチームのために全力で走り出す！

熱心な様子お見せ願います



競技「みんながみんな英雄」

～一人ひとりが輝く日～



個性豊かなきくぐみの子どもたち。当たり前のことが、得意なことと苦手なことと一人ひとりが違っています。そんな子どもたちと色々な問題にぶつかる度にみんな向き合っていて話してました。その度に「それぞれに得意なことあれば、苦手なことある。苦手なところも含めて〇〇なんだ！」「誰か欠けてもいいじゃない。2人じゃあだきくぐみなんだ！」という言葉を繰り返していただきました。今年はそんな子どもたちの得意なことはひのびと、苦手なことは一生懸命に取り組む姿を見たい！と思い、竹馬や縄跳びに力を入れて他の取り組みも盛り込んだ内容にしました。活動の中は、上手く出来なくて悔しい思いをしたり、「どうしたらいいの?!」と焦ったり、もっと上手にしたい！と頑張る姿や立ち上がりや…色々な気持ちに出会って子どもたちです。その中で、竹馬や縄跳びも得意なお友だちが苦手なお友だちに「持つたげるわ！」と声をかけて一緒にがんばっている姿も見られるようになりました。運動会まであと少し。得意なことと苦手なこと子どもたちのペースで取り組んで欲しいと思います。温かく見守ってあげたい。

子どもたち一人ひとりが「ありのままの自分っていいな！」と自信を持って、今後を輝かすように。

おたんじょうびおめでとう！！

Q. 女の子はあやひは何ですか？

- A. うんてい
- A. なかやま